

運動会「4色の魂～最後の校庭キセキをおこせ～」

1年

小学校に入って初めての運動会。
50m走。どきどきでスタートラインに並びましたが、ゴール目指して最後まで力いっぱい走りました。
表現はお父さん・お母さんも知っている「ジングスカン」。練習の成果を発揮して、笑顔で踊りました。
団体種目は「おとすな！おとすな1」二人で力を合わせてボールを運びました。
どの種目も笑顔いっぱい、元気いっぱい、楽しさいっぱいの運動会でした。



2年



団体種目の「ダンシング玉入れ」では、曲に合わせて踊りながら玉入れをしました。練習の時には、玉入れのかごの周りに、玉入れのタイミングまでに集まるのが難しかったです。
50メートル走では、大きな声援を浴びながら、ゴールを目指しました。応援団の大きな応援にびっくりしましたが、みんな一生懸命走りました。
表現の「LOVE&PEACH」では、キラキラのポンポンを大きく振りながら、笑顔で可愛く踊りました。体も校庭もいっぱい使って、楽しさを元気に表現できました。
2年生にとっては、2回目の運動会。それでも、春の運動会は初めてでした。暑くなってくる中で、みんなで練習を頑張って、楽しい運動会になりました。

3年



3年生は、花笠音頭と花笠リレー、80M走に取り組みました。花笠音頭では、ダンスリーダーを中心に1か月間、真剣に練習を行いました。腰を低く落とすことや大きな掛け声をするなど、気を付けて頑張りました。本番は、全力を出し切り、感動のある演技でした。花笠リレーではクラスの団結力を生かして、どのクラスも一生懸命でした。80M走では最後まで精一杯に走り切りました。運動会を通して、子どもたちは大きな達成感を味わい、たくましく成長しました。

4年

4年生の学年目標、絆 ～みんなの笑顔のために～に向かって、どの種目も一生懸命頑張りました。
80m走では、初めての曲走路をうでをふってしっかり走る姿が輝いていました。
絆引きでは、クラスで団結し、力強く競技を行う子どもたちが輝いていました。
エイサー ～ゆいまーる～ では、練習の成果を発揮し、大きな声と大きな振り付けで表現する姿が見られました。見ている人にパワーを与えるような、すばらしい踊りでした。



5年



5年生は、表現「スイッチ・ザ・フラッグ」の演技に取り組みました。長い木の棒と大きな布でできたフラッグに慣れていない時には、風になびく旗の重みで肘が曲がったり、体が傾いてしまったりすることがありました。下半身を固定し、できるだけ胴体を動かさないようにしながら、肩から大きく回すことを意識して、何度も練習しました。また、少しでも旗を振るタイミングがそろわなかったり、動きが中途半端になってしまったりすると、全体としてまとまりがない印象の演技となってしまいます。曲に合わせてみんなでカウントをとりながら、タイミングを合わせていきました。

一生懸命練習しました。棒から旗が抜けて壊れてしまったものを、何本修理したか分かりません。ダンスリーダーが中心となって、その都度テープを巻き直しました。練習を重ねて、息の合った演技ができるようになると、旗を振ったときの心地よい音が、校庭中に響くようになりました。本番も、1人ひとりが気持ちを込めて、127人全員が気持ちをそろえて4色のフラッグを振り、演技を見ている人たちにも、演技をしている自分たちにも、大きな感動を残しました。

6年



最高学年として、演技でも、係の仕事でも立派な姿を披露しました！

運動会では、子どもたちの「三田ソーラン」に込めた熱い思いは伝わったことと思います。一生懸命に練習をし、全力を出し切った子どもたちの笑顔は輝いていました。先輩たちから受け継いだ伝統をしっかりと後輩たちへ繋げることができました！温かいご声援ありがとうございました。

現在の校庭で実施する最後の運動会。子どもたちの躍動する姿を心に刻む素晴らしい運動会となりました。

来年度の運動会は秋に実施予定です。体育館新築工事のため、新グラウンドが会場となります。実施にあたって、会場が今よりも狭いことや木陰が減ること等の様々な条件に対しどのような手立てを工夫して、開催することが望ましいかを検討していきます。例年と同じ条件での実施は難しいため、保護者の皆様をお願いすることがあるかと存じますが、ご理解・ご協力をお願いします。

特集「これからの三田小学校の教育～ここが変わります！②」

新小学校学習指導要領 2020年4月1日施行！！

改訂のポイントは？？ 三田小の取組は？～その1

○子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成。その際、子どもたちに求められる資質・能力とは、何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視 → コミュニティ・スクール(学校運営協議会を設置)

○知識・技能の習得と、思考力、判断力、表現力等の育成のバランスを重視する今の教育内容を維持しつつ、知識の質を高め、確かな学力を育成。

○道徳教育の充実(来年度4月に特別教科化)や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心・健やかな体を育成。

「特別の教科 道徳」が、先行実施(H30. 4月～)されます。

☆三田小では、特別教科化に向け、睦合中学校と合同で教職員研修会を夏に実施する予定です。

確かな学力を育成するために

☆「生き生きと学ぶ子の育成」確かな学力を育成するために「算数科の授業づくり」をテーマに算数科を中心に授業改善を日々研究しています。

中学年で「外国語活動」高学年で「外国語科」が始まります。

☆授業時数の確保と2年後の実施に向け、移行期間にどのようなカリキュラムを組むか検討中です。

コンピュータを活用した学習活動の充実

☆タブレット導入にあたり、教職員研修を2回実施。これから研究を深め、授業で活用していきます。

学校間の円滑な接続

☆三田小は、睦合中と「小中交流会」を年間9回実施。子どもたちの学びの接続を意識した話し合いをしています。